

久米地区タウンミーティング(要約)

平成25年12月21日(土曜日)

【市長】 皆さん、こんにちは。今日は休日でほんとだったらおくつろぎになりたかったんじゃないかなと思いますけども、このように多数の方がお集まりをいただきまして、ありがとうございます。このタウンミーティングの開催にあたりましては、久米ふれあいタウンづくり協議会準備会の会長さんをはじめ、役員の皆様のご協力をいただきました。ありがとうございます。2巡目のタウンミーティングになります。私が市長に就任をさせていただいて、これは絶対にやらなければいけないという思いで1カ月半後からタウンミーティングをスタートしたんですけれども、松山市は旧の北条市、旧の中島町とあわせて41地区に分かれます。市役所で待っているのではなくて、我々から各地区に出向かせていただこう。各地区それぞれで魅力があって、そして逆にお困りの点、課題もあると思いますのでそういった点を聞かせていただいて、そしてできることから市政に反映していこうという思いでタウンミーティングを開催させていただきました。決してパフォーマンスとかガス抜きでやっているのではありません。聞きっぱなしにしない、やりっぱなしにしないのがこの松山市のタウンミーティングでございます。その証といたしまして1巡目もそうだったんですけど、この場でいただいた質問に対しましてはできるだけこの場でお答えをいたしますが、中には国と絡むもの、県と絡むもの、また財政的な問題があるものはいったん持ち帰らせていただいて、そして必ず1カ月を目途に地区にお答えをお返しします。聞きっぱなしにしない、やりっぱなしにしない、ガス抜きではないのがこのタウンミーティングでございます。パフォーマンスだったら1巡で終わっていたかもしれないですけども、皆さんの声をできるだけ市政に反映していくということで今2巡目に入ったわけです。久米のタウンミーティングは1年1カ月ぶりになりますので、どうぞよろしく願いいたします。久米地区は以前から公民館活動が非常に盛んな地区と感じておりましたけれども、先ほど申し上げたとおりふれあいタウンづくり協議会準備会が今年の10月に設立をされました。まさにまちづくりの機運が高まっているところだと思います。ここで私から申し上げたいのは、やはりまちづくりは行政が押し付けるものじゃなくて、行政と地元の方々が連携してやればもっとうまく進むと思います。車のタイヤと同じで、例えば行政のタイヤそして地元とか民間の方のタイヤがあるとすると、一方だけ回っていたのでは同じところを回るだけだと思います。両方のタイヤがしっかりと回ることで前に向かって進んでいくと思いま

すので、今まさに久米でまちづくりの機運が高まっていることは非常にいいことと思っております。今日はやはり久米地区大きい地区でありますので、久米地区に住まいをしている職員の方もいるんですけども、せっかく皆様のお声を聞かせていただくいい機会ですので後ろに来ております。見るかぎり40人くらい来ていると思うんですがこれは強制ではありません。土曜日ですから自主的に参加してくれて非常にありがたいなと思っております。今日は皆さんと前向きなお話ができればと思いますのでどうぞよろしく願いいたします。

【男性】 国土調査について、私が聞いとんは来住町のほうは今年国土調査するいうんを聞いとります。久米窪田町がいつごろ実施できるんかを聞きたいと思ひまして。もし今日回答できなんだら後日でも結構です。

【都市政策課長】 ご意見ありがとうございます。都市整備部都市政策課の松本と申します。国土調査は現在市内の中心部と、今年度から山間部もするようにしております。まず結論としては現在手元に何年度にどこの地区というのを持っておりませんので、改めてご回答させていただきます。松山市は国土調査の調査率が四国の中では遅れておりますので、石井地区は古川等最初にやったんですけれども、今後とも市内うちのところ山間部も含めて、進めていきたいと考えておりますので、よろしく願いいたします。

【市長】 今日は中学生の方、小学生の方もいらっしゃるので国土調査について申し上げますが、基本的に今までは松山市の中心部を中心に国土調査、地籍調査をやってきたんですけれども、今山間部では、誰がどこの土地を持っているのかがはっきりしない状況があります。高齢化が山間部では進んでいるので、このまま放置しておくとなら誰がどこの土地を持っているのかがはっきりしないまま継続してしまうので、耕作放棄地対策をしようにも余計に難しいことになりますので、地籍調査をしようと思ったら、人も要りますし、お金もかかりますし、時間もかかるんですけれども、ほっとくわけにはいかんだろうということで、改めて山間部の調査もするようにいたしました。できる限り早くやっていきたいと思ひますので、ご理解のほどよろしく願いいたします。私からいきなり振っちゃうんですけれども、それぞれ今日来ております担当がどういう仕事をしてるのか申し上げますと、皆さんどういふ質問したらいいのかがわかりやすくなると思ひますんで、それぞれ市民部長からどういふ仕事を担当しているかを言っただけですか。

【市民部長】 市民部の吉野と申します。どうぞよろしく願いいたします。市民部はまちづくりとか皆さんに一番近い支所の窓口と市民課の窓口

とか市民相談をやっております。それとか人権問題とか幅広く市民に直接接するところでやっております、どうぞよろしく願いいたします。

【保健福祉政策課長】 保健福祉部保健福祉政策課の高橋です。保健福祉部では、子どもさんからお年寄りまでの保健、福祉、医療の関係の仕事をさせていただいております。いわゆるゆりかごから墓場まで、すべての保健福祉の関係の仕事をさせていただいております。

【都市政策課長】 都市整備部都市政策課の松本です。都市整備部では、道路の建設あるいは維持管理、公園の建設や維持管理、また市営住宅の管理とか都市整備のハード部門、維持管理そういったものを担当しております。

【都市ブランド戦略課長】 産業経済部都市ブランド戦略課の矢野と申します。お世話になります。産業経済部では商業の活性化とか地域経済の活性化、それから松山市の基幹となります観光産業とか国際交流、そして道後温泉も所管をさせていただいております。そのほか競輪とか農道の整備、それから最近ですと「紅まどんな」なんか有名になっていますけれども、柑橘の栽培支援とか市場の取引の関係を担当させていただいております。よろしく願いいたします。

【生涯学習政策課長】 教育委員会事務局生涯学習政策課の津田と申します。よろしく願いいたします。教育委員会では松山市立の幼稚園、小学校、中学校、また地域の社会教育、また青少年教育の所管課を抱えております。最近では学校の問題、いじめの問題とか、通学路の問題とか結構集中的な案件もございまして、特に今、小中学校ないしは公民館本館の安全安心の面からの耐震化事業を進めておりますので、またご理解いただければと思います。

【消防局総務課長】 消防局総務課の中矢でございます。消防局は各消防署、消防団、自主防災組織、女性防火クラブ、少年消防クラブなどさまざまな分野の担当をしております。また、本日は防災、危機管理にかかわる部分も私で担当させていただきますので、何かご質問ございましたらよろしく願いいたします。

【市長】 それぞれ担当はずっと入庁してから退職するまで同じ部署にいるということはありませんので、さまざまな部署を担当しておりますので、市役所に関して幅広い、久米地区に関して幅広いご意見をいただければと思いますので、どうぞよろしく願いします。

【男性】 こんにちは。お世話になります。お伺いしたいのが、近年異常気象で夏がものすごく暑い、冬がものすごく寒い状況にあるんですが、私小学校参観日とか行ったときにびっくりするのが扇風機がない、ストーブ

も教室に置かれてない状況にあります。一番上の子が小学6年生ですが、小学1年入ったときからずっと入っていない状況です。こういった状況について市長さんどうお考えでしょうか。

【市長】 まず扇風機のことについて述べさせていただいて、そして教育委員会から述べさせていただきます。夏、特に今暑くなってきていますので、扇風機が必要だろうということで、すべての学校で扇風機は配備をさせていただきました。東日本大震災が起こりまして、あれが平成23年の3月でした。平成23年の夏には全配備したかったんですけども東日本大震災で工場がかなりやられたものですから、扇風機を導入するのが遅れてしまったところがあるんですけども、夏の暑さは対策が必要だと思いましたので、すべて扇風機は配備をさせていただいたところです。あと冬、ストーブのことは教育委員会からお願いします。

【生涯学習政策課長】 教育委員会の津田でございます。扇風機に関しては市長が申したとおりですが、ストーブ、暖房器具に関しては予算化には非常に厳しい状況にあります。また安全面を確保するというので、柵を設けて教室の一角にスペースをとって大きなストーブ置いていた事例もあったんですけども、今はそういうスペースもないものですから、大型ストーブは面積的な問題もあり冬場の暖房器具に関しては厳しいということをご理解いただければと思います。

【男性】 すみません。扇風機は子どもからも聞いておるんですが、教室に一つしかなく確かに置かれてあるということですが、1カ所しかないんで2カ所ぐらい欲しいなと話をしておりました。それとストーブはどうしてもやっぱり難しいものでしょうか。自分たち小学生のころあったなって記憶があるんですけど、予算の配分そのあたり全体から見てどうしてもできないものでしょうか。

【生涯学習政策課長】 私も確かに番町小学校にあった記憶がございます。予算の問題もそうですけれども、まず大きさの問題ですね。あの当時思い出していただければと思うんですけど、ストーブは教室の右後ろとか左後ろ、廊下側に近かったと思うんで、そちらに鉄柵の囲いを置いて、外気に外に出す形のものをつくったりしておりまして、面積もかなりとっておりましたもんですから、今の教室は御存じのとおりおそらくいっぱいいっぱいのところであって、中に柵もありますので、面積的な問題でまず難しいところと、あとはどのような形で配管、空気の逃がし口をつくっていく工事を伴いますので、新しい学校をつくる時には考えるかもしれませんが、今の既存の学校につけていくのは厳しいかと思います。すみません。

【市長】 これは私から教育現場に問い合わせまして、夏の扇風機は1台

でいいのか。どれぐらいがふさわしいのか。冬の状況はどういう状況なのか担当に聞いておきたいと思います。

【男性】 久米には官衙遺跡がありますけれども、あれはやはり文化的に非常に価値があるものですが、調査が予算の関係とかで長い間やってますけど、なかなか進まないし発掘調査した跡が草ぼうぼうということもあり、周りの人が困っていることもあるし、そこら辺をうまく調整してもらおうということと、調査するとき徳島とか香川見たときに、ごみ捨て場を大事にしているんですよ。久米の発掘調査ではごみ捨て場の調査なんかあまりないもんですから、なんでかっていうと、木簡がそこからほとんど出てるんですね、徳島の場合も。そこら辺のことを一つうまくまとめてホームページに載せてもらおうと、徳島とか香川はホームページに結構出てます。松山の場合も出てますけども、いわゆる跡だけの話ですから木簡とかそういうことが探してないもんですから、生活の面とのつながりが出てこないんですね。それともう1点は同じ文化の面ですけども、松山城が南予とそれから滋賀、あそこで今3連の天守閣ですが、当初はあそこに池があったということで、今の状態じゃないっていうのが2年ぐらい前に新聞にも出ていましたし、そういうものをまとめて、松山の文化として宣伝をうまく組み立てていただければと思います。

【市長】 わかりました。私から久米官衙遺跡来住廃寺について述べさせていただきます。これかなり昔からやっていることですので、まとめてご説明をさせていただきます。来住廃寺っていいですけども、正式名称は久米官衙遺跡群久米官衙遺跡来住廃寺跡といいます。長いですね。簡単に言うと、昔の役所の跡と古代のお寺の跡が見つかったわけですよ。昭和54年、先に見つかった7世紀末ごろのお寺の跡が来住廃寺跡という名前で国の指定を受けました。県の指定でもなくて市の指定でもなくて国の指定を受けました。そしてその後の発掘調査で、7世紀の初めから平安時代に至る官衙関連遺跡、昔の役所の遺跡が広い範囲であることが明らかになりまして、平成15年に久米官衙遺跡群として追加指定され名前が変更されたわけですよ。今どんなふうに周知しているかというのと、国道11号から史跡に入るところに国土交通省の案内看板があります。そして松山市もこの久米官衙遺跡群のパンフレットをつくったり、市のホームページなどで案内をしまして、施設内には説明看板設置しています。そしてバスで市内の文化財を巡ります「文化財めぐり」をしまして、現地に案内して説明をする、そういった周知をしています。そして来住廃寺跡では、私も毎年来させてもらっていますけども、地元の皆さんの「来住廃寺まつり」ですね。小学校は「町探検」行きましたか？「町探検」の授業でも利用いただ

いてまして、可能な範囲で地域の皆様にご活用いただけるよう協力をしております。そしてこれからどう久米官衙遺跡を活用していくかについてですけれども、今は遺物とか遺跡を大切に保存しないといけませんので、国の補助を受けましてこの土地の買上げを行っています。現在、農道・水路・市道含んだこの指定地の88.26パーセントまで公有化になっています。長いことやっています。昭和56年度から平成24年度まで31年間やっています、このうち国の補助が29億2725万1千円。松山市の単費が7億3264万3千円。久米のあたりは住宅地で土地も高いですから、公有化をしようと思ったら今で36億というお金を費やして公有化をさせていただいているわけです。31年かけてやっぱり公有化ができないと、私有地があるとなかなか難しいということになりますので、ただ、この公有化が完了する目途がたっておりません。そして史跡を一体的に活用するためには、市道の用途廃止など解決すべき課題がいろいろとあります。そしてこの指定の場所が大きく3カ所に分かれていますので、具体的な整備計画はいまだに決まっていない状況です。でもこれはせっきくの大事な場所ですので、市としてもどんなことができるのか検討しており、本格的な整備に入るにはまだ10年単位の歳月が必要と見られておりますので、ご理解のほどよろしくお願いたします。

【都市ブランド戦略課長】 産業経済部都市ブランド戦略課の矢野でございます。松山城のご提案でございますけれども、松山城、現在の三重の造りは3代目藩主の松平定行の時代に改築をしたもので、築城を開始した加藤嘉明の時代から2代目藩主の蒲生忠知の時代までは五重の造りであったと言われております。先ほどおっしゃいました池があったという古図面、滋賀と南予でその図面が発見をされているんですけども、この池は発掘調査で一部その形跡が見受けられておりますけれども、生活用水なのかまたは防火用水のかなど目的はまだ現在のところ判明はしておりません。そして現在のところ明確に存在や意図についての確証はできておりませんが、観光ボランティアなどが松山城の案内の中で観光客の皆さんに既にお伝えして、情報発信をしていただいております。こういった歴史のミステリアスな部分をPRすることによりまして、松山城へのさらなる興味を持っていただいて、松山城に再度観光客の方にも来ていただけるようになればと思っております。今後さらにその活用方法は研究してまいりたいと考えております。

【市長】 歴史的なことが続いたんで堅い雰囲気になっちゃいましたけども、おかげさまで久米官衙保存会という地元の協力会があって、史跡の中の草刈りなど維持管理してくださっていますので、ほんとにありがたいと思っています。また来住廃寺跡は発掘調査ほぼ完了しましたので、現在報告書をつく

るために出てきたものの調査を引き続き進めているところです。国の史跡ですから文化庁と協議をしながらになるんですけども、まずは報告書をつくって皆さんに公開したいと思っていますので、今整備計画をつくるべく準備中ですのでご理解いただけたらと思います。よろしくをお願いします。

【小学生】 久米小3年生以上のアンケートをとったんですけど、久米が思いやりのあるやさしいまちになってほしいという意見と、久米が緑豊かできれいなまちになってほしいという意見が出ました。久米小学校の前の道路もそうですけど、通学路の道路が狭くて狭いわりには大きな車がたくさん通るので危ないという意見が出ています。道が広くなったり歩道が広くなるといいなという意見が出ました。また南久米公園と鷹子運動公園の遊具が増えるといいなという意見と公園が増えるといいなという意見が出ました。以上です。

【市長】 はい、ありがとうございます。今、五つのことをいただきました。まず緑のこと、そして思いやりのこと、道路のこと、遊具が増えること、公園が増えること。緑のことでいいますと、「緑のまちづくり奨励金制度」といって、お金を出しますよ、サポートしますよ、松山市としても花のあるまちづくり、緑のあるまちづくりやりたいんですよ。皆さんと協力してやっていきましょうっていうことで、ホームページ見ていただいたらあります。「生垣・庭木を設置するときは奨励金を交付いたします。設置場所は市内に限ります。」こういう奨励金制度もあります。お家の方に相談してもらって皆さんの家の庭や生垣から緑のまちづくりに取り組んでいただけたらと思います。ホームページでもわかりますし、また公園緑地課が担当ですので相談していただけたらと思います。そして学校花壇コンクールをやっていまして窪田小学校は平成23年度、24年度に市長賞をとっているんですよ。平成25年度にはJAバンク愛媛農林中央金庫松山推進室賞を受賞されていますので、また色々な学校でやられていますので協力してもらったら、できるんだったらやってもらったらと思います。

【都市政策課長】 都市政策課の松本です。道路と公園の遊具、それから公園の設置についてお答えをします。まず公園ですけども久米地区では南久米公園とか来住公園とか南土居公園とか10カ所ございます。南久米公園はこういう住宅街の中で広い公園は松山市内でもあまりないんですけども、ソフトボールができるぐらいの大きな公園があるということで、新しい公園の設置は、なかなか現在松山市では土地を購入して新規の公園というのは今のところやっておりません。そういうことで今ある公園をご活用していただきたいのが1点。それから遊具ですけども実は松山市内に約320カ所ぐらいの公園がありまして公園緑地課が所管しておりま

す。30年ぐらい経った公園からリフレッシュ事業で遊具の交換、新たなものについて地元の管理協力会の方と相談させていただいて進めております。それから道路のことですけれども、先ほどの通学路の件もありますけれども、生活道路あるいは幹線道路となる道路において危険な箇所がやはりあります。最近では自転車の交通事故が全国的にもニュースになっております。まず交通安全ということで総合交通課が市内の小学校・中学校で交通安全教室等を開いて交通ルールの順守、そしてマナー。こういったことは大人の方がぜひ見本を見せて小中学校にもルールを守っていただくということで、道路の新設は都市整備部の道路建設課が所管をしておりますので地域の方々でお話をさせていただいて土地改良区とか町内会の方と相談させていただいて申請を出していただけたらと思います。

【市長】 私から道路のことで補足します。タウンミーティング今日が2巡目の15地区目で延べ56地区目のタウンミーティングですが、道路を広くしてくださいというご要望をいただくんですね。子どもさんだけじゃなくてお年を召した方の安全性を高めるために道路を広くしてくださいというご意見いただくんですけど、道路の横に川があったり溝があったりするところは大体下流の農家の方が使っているんですね。それでふたしてくれたら道が広がるじゃないですか、安全になるじゃないですかという声をいただくんですけど、難しいところがあって一般論として聞いてください。大体ふたをすると水路にごみが詰まったときの掃除が難しいとか、コンクリートで全部埋めるよりも水があったほうが夏は涼しいとか冬は温かいということもあって、ただ広げればって話が済むわけではない。できたらふたはせんってほしいっていう農業者の方も水を使っている方もいらっしゃるんですね。もう一つ考えないといけないのは、道が広がることによって抜け道になって、車のスピードが上がって逆に子どもたちの安全性が危ぶまれるところもありますので、総合的に考えないといけない部分があります。通学路に全部ガードレールしてくれたら安全性が高まるんですけども、それやっちゃうと沿道の方々の車庫に車を入れるときに難しくなるんですね。また道を広げようと思ったら周辺にお住まいの方に、家下がってください、土地を提供してくださいってお願いしないといけないので、1件の人だけが「いいよ、わかりました、下がりましたわい、土地提供しましょうわい」って言ったらでこぼこの道ができてしまうので、それは周辺の方が協力していただいてまとまってやらないといけないところがあって、どうしてもそういう経緯があって道の狭いところがある状況です。今回先ほど松山市全体の通学路の安全対策について話させていただいたんですが、久米地区では去年の夏、安全対策緊急点検させても

らって久米・北久米・窪田・福音の各小学校での通学路、何カ所危険箇所が出てきたかということ17カ所出てきました。そのうち6カ所は交差点にカラー舗装や交差点内に線を引いたり、路肩の白線を引き直したり、十字のマークを設置して交差点を目立つようにしたり、カーブミラーの交換をしたり、そういうハード面の対策をしています。あと11カ所はカーブミラーやガードパイプの設置を予定しているところが6カ所。歩道整備、待機場所の確保、通学路の変更など学校と検討しているところが5カ所になっています。危険箇所が見つかってハードの対策ができるところはハードの対策をやっていきますけども、どうしてもハードの対策ができないところは地元の方々にお願いをして見守り員として見守っていただくとか、警察の立ち会いを増やすなどしてハード面はハード面でしっかりやっていく、できないところはソフト面でやっていくということで安全性を高めていきたいと思っています。

【市民部長】 市民部の吉野です。よろしく申し上げます。久米が思いやりのあるまちになってほしいというところのお答えをさせていただきます。PTAや公民館とか防犯協会など地域の大人の人たちが皆さんの安全を守るために青色パトロールとか通学路で見守り活動をしてくださっていると思います。また高齢者の安全・安心のために地域の皆さんが見守り活動にあわせて取り組んでおられています。学校でも高齢者と子どもたちの交流にも取り組んでおられます。皆さんもまちで困っている人を見たら助けてあげていると思います。皆さん一人一人が自分のことだけを考えるのではなくて、ほかの人を思いやる行動をとってもらえれば、地域全体が思いやりの心のあるやさしい地域になると思いますので、そんな久米地区を社会全体に広げていってほしいと思います。最初の市長のあいさつにもありましたが久米地区では今年10月に「久米ふれあいタウンづくり協議会準備会」という新しいまちづくりの組織が立ち上がりました。これから地域の皆さんが久米地区を住みやすいまちにするために、色んな活動に取り組まれると思いますので、小学生の皆さん中学生の皆さんもそうした活動に参加して、思いやりのあるまち、やさしいまちづくりに取り組んでいただけたらと思います。どうぞよろしく願いいたします。

【市長】 今日3時半までのタウンミーティングの予定ですけど、例えば道路で危険なところがあるとか、空き家がほったらかしになっとなって危ない感じがするとか、そういったご意見ありましたら地図持ってきておりますので、地図で差し示していただいたら後ほど我々その現場に行きまして危険度をチェックしたいと思いますので、道路のこととか下水道のこととかでも結構ですので危険だなと感じるところがあったら教えていただい

たらと思います。3時半以降にまたよろしくお願いいたします。

【女性】 暮らしの安全・安心ですけれども、私の同級生が2007年の
中越沖地震で被災しております。柏崎の原発があるところですが、
その方が本を送ってきてくださいますし、ぜひ市長さんたちにも見ていた
だきたいんですけれども、お嫁に行かれて彼女は被災したんですけれども、
私は4才のときに南海地震に遭っております。私の生まれは三津のほうで
すけれども近くの古い家はつぶれました。そして何回も余震が来て本当に
怖い思いをしております。最近思うんですけれどもブロック塀がすごく怖
いです。ひびがいついてるところがいっぱいありますし、そういう危険箇
所を松山市で調査していただきたい。私は極楽寺の前にはいるんですけれど
も、道路が狭いうえにその近くは怖いブロック塀がありまして、もし大き
な東南海地震が来たときに多分道路に落ちてくると思うんですよね。それ
を自分のこととして本当に地震がいつ来てもいいという心構えで私たち
生きていかなければいけないと思いますし、私のところは水とか食料品だど
か衣類だとか松山に私が帰ってきてもう20年になりますけれども備蓄
しております。東京で1960年代から水だとか全部備蓄しておりました。
その当ても東京に大きな地震が来ると言われておりました。現実問題とし
て何十年か内に南海地震来るんじゃないかと思っておりますので、ぜひ安心・安
全で楽しく暮らせる松山市であっていただきたいと思っておりますので
どうぞよろしくお願いいたします。

【都市政策課長】 都市政策課の松本です。ブロック塀ですけれども大き
な災害があったときにブロック塀が道路側に倒れて、例えば緊急車両が通
れない、あるいは倒れて人がけがをする恐れがございます。そういったこ
とがないように当然ブロック塀の安全は非常に大事なことになります。都
市整備部建築指導課でブロック塀についてどれぐらいの安全性があるか
を簡単にわかりやすくチェックリストを記載したパンフレットをお渡し
できるようになっております。点検票は例えば何年に建築した、あるいは
基礎がどうなっている、あるいはブロック塀の鉄筋、こういったものがど
うなっているかわかりやすい判定のチェックリストになっておりますの
でぜひご活用していただけたらと思います。そしてブロック塀の管理はあ
くまで個人の所有になりますので、それぞれの方で維持管理を十分してい
ただきたい、保全をしていただきたいと考えております。

【市長】 これはどうやったら手に入れることができますかね。

【都市政策課長】 市役所の本館の9階に建築指導課がありますので窓口
でお気軽に言っていただいたらパンフレットありますのでご利用いただ
いたらと思います。

【市長】 支所は難しいですかね。

【都市政策課長】 支所にはないと思うんですが配れるだけあるかどうか確認をさせてください。

【市長】 郵送はしてもらえるんですか。もし封筒とか返信用切手とかつけてもらっとったら。

【都市政策課長】 対応できるように建築指導課へ話をしてみたいと思います。

【市長】 お知らせをしたいんですが、皆さんのお宅に防災マップが全戸配布で皆さんのお宅に必ずいつています。これは平成23年の3月に配りました。平成23年の3月というと東日本大震災があったときです。3月11日に大きな地震が起こったんですが、そのちょうど時を同じくして配りました。確かに大きな災害だったですから見直しが行われて、また新しいものをお届けする形になるんですが、東日本大震災が起こったから全く役立たんものになったわけではなくて役立つ情報がいっぱい書いていますから、ぜひとも利用していただきたいと思います。ものすごくわかりやすいデータがありまして、8割の人が何らかの災害に遭遇すると思っているけれども2割の人しか家具の固定をしていないんですね。私は今年防災士の資格を夏に取らせていただきました。その中で勉強したんですけれども、皆さん南海トラフの大きい地震が来たらものすごい揺れるだろうなと思ってらっしゃると思うんですけれども、皆さんのお家に家具、タンスありますよね。いっぱい色んなもの入っていますよね。その重いものが家具固定してなくて揺れて飛んできたら命にかかわることになります。ですので家具固定はしていただきたい。これが見事にあらわしているんですけれども、皆さん災害は来るんだろうなと思っているんだけれども備えをされてないんです。防災士を取らせていただいて思ったのが正しく恐れることが大事です。しっかりと準備しておくことが大事です。海で泳いでいて足がつかないと不安ですよ。でも足がつくとここ何メートル、自分の胸ぐらいの高さなんだ、腰ぐらいの高さなんだってわかりますよね。ですので松山市では沿岸部を中心に標高表示板といいまして、ここは標高何メートルですよっていうのを地域の方と一緒にやっています。この防災マップを見ていただいて正しくしっかりと準備をしていただいたらと思います。久米地区は79ページに載っています。どこが避難場所とかが載っていますけれども、例えば沿岸部を見ていただいたら蛍光色を入れているところがあるんですが、その蛍光色の色まで気を使ったのがこの防災マップです。目の不自由な方は蛍光色、色によっては逆に見にくいので蛍光色の色まで配意をした防災マップです。愛媛大学に谷田部先生という防災の権威の方

がいらっしゃってその方と一緒にセンターの方と一緒にあってつくった防災マップで、役立つことがいっぱいありますのでこれを活用していただきたいと思います。よろしくお願いします。久米小学校は高さ42.9メートル、大分高いところにありますね。

【女性】 久米中学校です。前テレビで「マッツとヤンマとモブリさん」を見たんですけどほかに何かPRするものはありますか。

【市長】 今「マッツとヤンマとモブリさん」を彼女は言ってくれたんですね。「マッツとヤンマとモブリさん」は「松・山」ですね。モブリさんは松山弁で「もぶる」は「混ぜる」って意味ですね。3人の主人公です。この人の声は新居浜市出身の水樹奈々さんがやってくれているんですけど、実は松山市は松山の魅力を全国に伝えるために、また海外にも伝えるためにアニメーションをつくったんです。なぜこういうことをやったかという、実は私就任して松山がどれくらい全国の人に知られているのかと思って調査をしたんですが、案外知られていないことがわかりました。知られてないのに来てください、またいっぱいの人に住んでもらうとありがたいですけど、松山で働いた支店長さんで転勤で来られてた方が松山が気に入って老後住みたいと結構言ってくれてるんですけども、来てほしい、住んでほしい、また松山のものを買ってほしいと思っても案外知られてなかったんです。例えば同じ規模ぐらいの都市、仙台、富山、金沢、長野県の松本、静岡県の浜松、広島、高松、高知、別府、熊本、これらの都市と松山。都市のイメージ調査をやるとこの11都市の中で一番全国で知られていなかったのが松山だったんです。愕然としました。47都道府県の中で松山は結構頑張っているんじゃないかなと思ったんですけど、私就任して調査したらそんな状況でした。ショックでした。確かに愛媛県と愛知県がごっちゃになっている人もいますし、道後温泉は知っているけれども松山だったのという方もいらっしゃいます。これはいかんかということ都市のイメージを上げないといけないなと思いました。そこでまずはフレーズをつくりました。「いい、加減。まつやま」というフレーズを1年3カ月かけて市民の皆さんと一緒につくりました。何がいい加減ぞと怒る方もいらっしゃいましたけれども、これは実は海の魅力も山の魅力も都会的なところもある、田舎のよさもある、人情もある、お城もある、温泉もある色んなまちの魅力がいい加減にほどよく集まるとるのが松山です。それをあらわすために「いい、加減。まつやま」というフレーズを1年3カ月かけて市民の皆さんと一緒につくりました。今年亡くなった天野祐吉さんはコピーライターの全国の第一人者でいらっしゃいましたから「いい、加減。まつやま」を含んだ五つぐらいのフレーズを見てもらったんです。天野祐

吉さん言いました。「これしかない。」「いい、加減。まつやま」しかない。ほかは自分のまちを褒め称えるフレーズだったんですけど、そんなもん耳に残らへんよと。何がいい加減ぞと思わず、耳に引っ掛けるぐらいのものじゃないと定着しませんと言われて「いい、加減。まつやま」というフレーズ、太鼓判いただき、お墨付きをいただきました。それで松山の魅力を集めた9分間のVTRをつくりました。広島県は猿岩石の有吉さんを使って「おいしい！広島県」とやりました。香川県は出身の要潤さんを使って「うどん県」というPRをつくりました。高知県は出身の広末涼子さんを使って「高知家」をやっていますね。ああやってタレントさん使ってやるとタレントさんは肖像権という権利を持っていてタレント事務所はそれを使ってご商売しているわけですね。タレントさん使って都市のPRやるとお金かかるんですよ。こっちが変更したいなと思ってもなかなか変更がききにくい。でもうちは松山市ですから、何ぼでもお金があったらほかのことやりますけれども、二番煎じもいけないということでアニメーションでやることにしました。自由がききます。一ケタぐらい安くできます。そして「三丁目の夕日」を手掛けた東京のプロダクション、「海猿」も手掛けていますけれども、そこのいいプロダクションと出会いまして、これ松山市のホームページで見られますが9分間のVTRをつくっていますので、また見ていただいたらと思います。こうやって愛媛県外の方にも国外の方にも松山の魅力を知っていただきたい、そして松山に行ってみたいな、松山のものを買ってみたいな、松山に住んでみたいな。頭文字を取ると「िकास」になりますけど行ってみたい、買ってみたい、住んでみたい松山をつくっていききたいということでこういうのをつくりました。これからも色々な方策で松山をアピールして松山の地域経済を活性化したいと思っていますので、また力を貸してもらったらと思います。ちょうど来年は瀬戸内海国立公園、日本で初めての国立公園ですが80周年、道後温泉は建物ができて120周年。そして四国遍路は1200年。久米地区にも札所がありますけれども、そういう記念の年を迎えますので、観光で特に頑張らないといけないと思っているんですけども、また皆さんのお力添えをよろしく願いいたします。

【男性】 来住町の公民館分館の旧館ですが非常に古くなってきております。私が子どものころからかなり古かったんで、もう60年、70年たっていると思います。非常に馴染みもあって愛着もあるんですが、トイレも女性の方はそこで行きづらくて家に帰ってまた来ることをされとる感じです。近くに新しい鉄筋コンクリートの2階建ての公民館あるんですけど、地元の住民としては旧館が、やはり運動会終わった後とかお祭り終わった

後とかみんなが集合できるいい場所になってますんで、今後20年30年持つかいわれるとそれは難しいと思いますんで、ぜひ建てかえのご検討をお願いしたいと思います。

【生涯学習政策課長】 生涯学習政策課津田でございます。集会所、また分館は基本的に建設費の地元負担はどうしても必要になりますので、地元の総意という形でおおむね25パーセント程度は地元負担が必要になるかと思います。それは建てかえを要する話になります。あと今言いましたトイレの改修とか、部分的な備品等の入れかえ、これらも内容によっては、市でも助成できないケースもありますので、一度教育委員会に地域学習振興課と学習施設課がありますので、分館長通じてご相談いただければ具体的に揃えられるものと厳しいものがあるかと思いますが、そういう形でご理解いただければと思います。

【市長】 最初に松山市は41地区あると言いましたけども41地区それぞれの地区ごとに公民館の本館が設けられています。そして本館とは別に分館が330くらいあるんです。公民館本館は基本的に松山市が全部建てる。公民館の分館は75パーセントが市で25パーセントが地元の方に負担をいただくという形です。公民館分館を手を入れるとなると地元の方のご負担をいただかなくちゃいけない。全部公費では難しいことになっているんですね。それは330もあるので例えば一つの場所をやってしまったら、じゃあうちのところもやってくれよってという公平性の観点が出てくるので難しいところがあります。私がこの立場いただいてから例えば空港のほうの桃山分館ですとか清水地区の9区で分館を新しくされているところもありますので、また地元の方と相談をしていただいて、古くなったトイレですと男女共用だと行きにくいのはよくわかりますので、これは地元の方のご負担をいただく形になっておりますので、またご相談いただいて、そしてご協議いただけたらと思います。よろしく申し上げます。

【中学生】 久米中学校です。私はよく南久米にあるテニスコートを使うのですが、夜5時くらいになったら冬はすごく暗くなるので、周りに自動販売機があるのですがその光で少し明るいついていうくらいで、なかったらすごく暗いというイメージがあって、あと学校の登下校もすごく暗くて道路の下を通り抜ける道があるんですが、そこの街灯が壊れて暗いイメージで怖いのもう少し街灯を増やせないかと思います。

【市長】 はい、わかりました。実は松山市には3万くらいの防犯灯があるんですね。市役所が全部それを管理するといんですけども、職員の数も限られているので松山市役所が全部管理するのはなかなか難しいんです。ですので、この防犯灯の管理は地元の方にやってもらっているんです。

よ。地元の人だと日ごろから見てるので「あ、これ切れとるわい」って言ったらすぐに対応してもらえるとということで、公園は公園管理協力会、防犯灯は地元の方に管理をしてもらっています。中学生の女の子が危険を感じるようだったらいけないので、年に4回、申請のときがあるんですよ、市民部長。

【市民部長】 4月、7月、10月、1月と申請の月があるんですけども、新設は助成できますので、ただ今市長が申し上げたように後の維持管理経費、例えば蛍光灯で電球が切れたら交換はできますけれども、電気代は地元持ちになっておりますので、地元の町内会長さんなどに相談していただいて、このあたりが暗いんでつけてもらいたいと相談した上で、市役所の市民参画まちづくり課、支所にご相談いただいたらと思います。

【都市政策課長】 先ほどのご質問の中で南久米のテニスコートですけども、公園緑地課に現地の確認させていただいたらと思いますので補足させていただきます。

【市長】 まずはお家の方を通じて町内会長さんに相談できるかな。一番早ければ1月です。多分、中学生の中でも怖いとみんな感じていると思うんですよ。一人やったらなかなか動きにくいかもしれんけど、みんなで相談して例えば学校の先生に話してみることもできると思うので、また言ってもらったらと思います。やっぱり危険な箇所はぜひとも減らしていきたいと思いますので、声を上げてもらうほうがいいですから。よろしく願いします。

【中学生】 久米中学校です。テーマとは離れるんですけど、確か南久米公園でソフトボールとかを地域の方されているんですけど、市に言って使わせてもらっていると言うんですけど、そのとき僕たちが使えないんで、いつ使えるかわかる方法はないですか。

【都市政策課長】 南久米公園は松山市の公園緑地課で使用の予約ができるようになっております。地元の方が運動会とかグラウンドゴルフで利用されることもありますし、ソフトボールとかで利用されることもあります。12月の利用状況を見てみたんですけども、日曜日はありますが平日はやっぱり少ないと、寒いこともあるかと思うんですけど、10月は非常に利用が多くなっておりました。公園緑地課で使用状況、予約状況わかりますので。

【市長】 いろいろ課の名前言ってますけど皆さん覚えられないと思いますので、関心のある方はメモしていただいたらと思うんですけど、松山市コールセンター設けていますので、こういうことなんじゃけどって言ってもらえたらつながりますので遠慮なく言ってもらったらと思います。

【男性】 空き家のお話をしたいんで先ほど市長いいこと言ってくれたんやけど、うちの地区にも空き家があるんですよ。所有者はおるんですが空き家が壊れそうで、田舎でときどきありますよね、空き家放置の。そこは持ち主はおるんですが新しい家を建ててそっちのほう行って、その横の家の人がもう倒れそうやと、蔵なんですけどね。いっぺん見てもろたらわかるんですけど、そういう場合に強制力はあるんですかね。これのけてくださいとか。その所有者がほっといてくれ言われたら私ら町内会としてどうしようもないんで、強制力があるんならこのけてもろたら、地震来たら一発やと思いますよ、あれは。どうしたらええかちゅうのが悩みで、みんなに相談されても所有者が嫌じゃ言うたらどないしようもないっていうのがあるんで。それをお願いしたいんです。

【市長】 実は皆さんも空き家を見られることがあると思いますが、難しいのは空き家ってあくまでも個人の所有物ですよ。個人の所有物なので例えば壊す費用も何で税金で見えあげなくちゃいけないのっていう方もいらっしゃるわけですよ。でも危ないことには変わりがないわけですよ。ですので空き家対策ってどこの自治体も苦労しているところがあって、でも空き家のままで皆さんに危険が及ぶのにほっとくわけにもいかないので、今松山市では作業部会をつくりまして空き家対策をどうやったらうまくできるのか、今検討しているところです。今回地図でまたお示ししてもらいましょうね。

【都市政策課長】 場所について、この後、教えていただいたらと思います。そして空き家対策は松山市内だけじゃなくて全国的に大きな課題になっております。松山市においては空き家、老朽家屋について建築指導課で調査をさせていただくようにしております。建物の所有者がわからないとか、住んでいなくてどこにいるのかわからないこともございます。そういったときには地元の近所の方にお聞きするとか、法務局の建物登記簿を調査して指導をさせていただくこともしております。

【市長】 指導をさせていただくということで、放っておくわけではなくて、なかなか皆さんがやるのは難しいところがあると思いますので、市役所として指導させていただく。促すことができますので、この後どこの場所というのを教えていただいたらと思います。よろしく申し上げます。何かこういう質問したいみたいな言われてたことで、皆さんの多かったものないですか。今日、皆さん比較的静かだったんですけど、橘川課長何かありましたかね。

【タウンミーティング課長】 タウンミーティング課長の橘川でございます。事前にご意見いただいている方もおられたんですけども、久米地区は

まちづくり協議会の準備会を立ち上げておられまして、もともと公民館活動が非常に活発で住民の方もよく参加をされていますので、もしよろしければ、まちづくり協議会の会長さん申しわけないんですけど、その辺のお話がもしあればご紹介いただければと思いますけどよろしいでしょうか。

【市長】 急なご指名で会長さんすみません。こういう活動をされているみたいなのを言っていたらと思いますが。

【男性】 準備会は立ち上げましたけど、今公民館で一生懸命色んなことやっています。ただそれは公民館だけではなかなか大変だろうということ、協議会つくって協働で一つの事業をやっていると考えております。だから単純に考えております。難しくは考えておりません。今まで公民館で十分できたことを市民参画まちづくり課と一緒にやってみようということで、地元の方にも了解を得ておりますが、そんなに新しい組織をつくってとか新しい人員を配置してとか、新しく資金を集めてとかそういうつもりは一切ございません。ただ今まであるやつを二つの組織としてやればまた新しい人も少し増えてくるのかなということで、立ち上げるつもりです。

【市長】 はい、ありがとうございます。本当に久米は公民館を中心にいい活動をしてくださっているなと心から敬意を表したいと思います。3時半が来ようとしていますので、私から最後にまとめの話をさせていただいたと思うんですが、皆さんも報道で耳にされると思います。今、日本の国は1千兆円の借金を抱えています。仕送りと同じですね、国自体が1千兆円の借金を抱えているならば、我々の地方自治体には地方交付税交付金とか国庫支出金っていう形で地方にお金が回ってきますがこれから増えるのはとても考えにくいですよ。そして皆さん一緒だと思いますけども、私は税金を払いたくてたまりませんみたいな人はおそらくいないと思います。でもまちづくりのエネルギーなので税金はないと困るんですね。例えばごみの収集にしてもごみを集める人がいます。人を使うということは人件費が要るわけですよ。ごみを集めるにはごみ収集車が要りますけどごみ収集車を手に入れようと思えばお金が要るわけです。ごみは燃やしまさずけども、ごみ焼却施設も建てないといけませんね。ごみが多ければ多いほどごみ焼却施設は耐用年数、使える期間は短くなります。やっぱり税金をいただけないと、できないことがあるわけですね。でも今、松山は皆さんのご協力のおかげで全国でも1日あたりのごみの排出量は全国最少です。6年連続で記録しているのが松山です。皆さんのご協力のおかげでできているんですけども、いただいているお金で一生懸命運営をさせていただいているわけで、高度経済成長の時代だったら箱物行政なんて言われ

ることがありましたけども、色んな建物つくることができたと思うんですよ。人も増えるし日本の財政もよくなるのが見えていましたから。でも少子という子どもが少ないということは、これから働いて税金払ってくれる人が少なくなることを意味しています。高齢化はどうしてもお年召してくるとそうですけども、体が悪くなって医療をっていうことが増えてきます。そういう方は当然、今まで頑張って働いてくださったんですから働くのを引退される時代です。なぜタウンミーティングをさせていただいているかという、お金が要るから何もしないじゃなくて、皆さんの声にしっかりと傾けさせていただいて、今何をすべきなのかをきちっと我々はとらえさせていただかないといけないと思います。後手踏まないように今何をすべきかをしっかりととらえないといけないと思っておりますので、タウンミーティングをさせていただいております。私も人間ですのでご要望いただきます。市長「これやってくれ、あれやってくれ」ってご要望いただきます。私も人間ですから「わかりました、それやりましょう、あれやりましょう、これもやりましょう」言ったほうが、市長の人気取りからいうたらそのほうが楽かもしれませぬけども、それやってしまうと将来の子どもにツケを残すことにほかならない。だからといって何もしないわけではなくて後手踏まないようにちゃんとやっていこうと思ってる。そして皆さんの声に耳を傾けていこうと思うんですけども、やっぱり何でもできる時代ではなくなっている。やるべきことをやってっていう時代だというのをご理解をいただければと思います。これからも皆さんの声に耳を傾けていきますので、今日発言できなかった方は市長への直接のメール制度もあります。また、はがきとか封書でも何でも結構ですので、また遠慮なくご意見を寄せていただけたらと思います。最後に政に治めると書いて政治と書くのが普通ですけども私は誠実に皆さんの声に耳を傾けて誠実に取り組んでいく、誠で治める政治ができたなら、一市民からこの立場をいただいた人間ですので誠実に取り組んでいきたいと思っておりますので、またよろしく願いいたします。今日は長時間にわたりましてありがとうございました。

— 了 —